

私は、昨年4月「対話と公正を基本理念に掲げ岩室村長に就任以来、まもなく1年を迎えます。

この間、鷲沢前村長の施策を受け継ぎ、時代に即応した明るく豊かな村づくりを指針として村政の執行にあたらせていただき、それなりの成果を得ることができましたことは、ひとえに村民各位のご理解ご協力の賜物と、心から深く感謝申し上げます。

もとより村政の執行にあたりましては、全ての村民が健康で幸せな生活を営むために、地域の発展が不可欠であり、さまざまな環境整備が最も重要と考えております。幸い本村には、美しく豊かな自然と恵み、先人達から受け継がれた人の温もり、温かさがあります。

このことを念頭におきまして、『人にやさしい福祉保健の推進』『明日へつなぐ農林水産業の推進』『活力ある産業の推進』『ゆとりある教育と人づくりの推進』『ぬくもりと快適なまちづくりの推進』を重点施策の基本といたしまして、村政の推進にあたってまいります。さて、わが国は、少子高齢化への対応、経済的困難の克服、変動する国際社会への対応など、多くの課題に直面しており、さまざまな分野において、

構造的な変革を迫られております。

地方においては、地方分権一括法において実現した新しい自治制度の円滑な運用、事務権限の委譲や税財源の充実確保等による分権改革の定着、進展に努めるとともに地方行政体制の整備に努めることとされております。

一方、地方財政は、多額の借入金残高により極めて厳しい財政状況であり、その健全化を図ることが緊急の課題となっております。歳出の抑制に徹する一方で、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めながら、自主的、主体的な地域づくり等の政策課題に積極的に対応することが求められております。

このような状況において、本村では、今後ますます増加する財政負担を考慮しながら、健全財政の維持を基本として、村民に身近な社会資本の整備、総合的な福祉の充実、地域づくりを積極的に推進するものであります。

平成12年度予算につきまして、経常経費の節減に努めながら、財政の重点的、効率的配分を基本に編成いたしました。一般会計予算は35億円で、前年度当初予算比3%のマイナスであります。なお、重点施策は以下のとおりであります。

## 重点施策 村づくり

■児童の登下校の安全確保と、地域住民の利便性を図るため岩室駅の東西を結ぶ、構内地下通路横断新設工事は、本年度から着手し平成13年度完成となります。

■間瀬海岸埋立地での(仮)木とのふれあいセンターは、体育館及び集会所を保育園と組み合わせて1棟で建築するもので、木のやさしさ、あたたかさ、やわらかさが土台となります。

■防災まちづくり事業として、防火水槽設置のほか本年度より消防団活動の充実のため、小型ポンプ積載車を導入します。

■村道の整備は、維持修繕等24路線、改良工事7路線を予定しています。また、県道については、五千石・巻・新潟線原地内の道路拡幅工事、新潟・五泉・間瀬線西長島地内の融雪施設設置工事が予定されています。

■新潟・寺泊線の仮称岩室バイパスについては、国の事業採択に向け県の測量調査が予定されています。

■冬季期間の道路交通確保は、村所有除雪機械5台歩道用除雪機械1台、村内業者所有の除雪機械6台で、冬の除雪に対処していきます。

◇西部広域消防事務組合負担金	176,071
◇村道整備(維持・改良舗装)事業費	91,000
◇下水道会計繰出金	38,984
◇岩室駅構内横断地下通路新設事業費	110,195
◇健康増進センター管理費	41,637
◇OA電算機器リース・保守料	11,717
◇除雪対策費	9,965
◇防火水槽設置事業	8,000
◇県道路事業負担金	7,000
◇通学路防犯灯設置事業	4,326
◇広報いわむろ発行費	5,675
◇岩室駅無人化対策事業費	5,090
◇廃止路線代替バス運行補助金	4,582
◇間瀬高屋地区テレビ共同受信施設補助金	6,134

## 重点施策 教育

■岩室中学校の教育環境の充実を図るため、平成12年度から13年度の2年間で、内装を主体に改修工事を実施します。

■児童・生徒の情報活用能力を養うため、教育用コンピューターを小中学校にそれぞれ導入します。

■子どもたちの健全なこころを育む教育をめざし、「教育相談事業」の継続と合わせ、中学校に「心の教室相談員」を引き続き配置し、学校生活での悩みや体の不調を訴える生徒の相談に応じます。

■引き続き外国語指導助手(ALT)を採用し、外国語力の向上と、国際的コミュニケーションの意欲の増進を図り、その能力向上に努めます。

■生涯学習事業としては、資格付与講座「ホームヘルパー養成講座3級課程」を計画し、社会の要請に添えていきます。

■体育協会・文化協会、婦人会、PTA、ボランティア団体などの社会教育関係団体との連携を図りながら社会教育の推進を図っていきます。

■野球場のフェンス、照明施設の一部を年次計画に沿って改修整備していきます。

◇国指定重要文化財種月寺本堂建物診断調査補助金	500
◇学校給食用食材購入補助金	499
◇図書資料購入費	19,668
◇岩室中学校校舎大規模改修事業	109,725
◇小・中学校コンピューター室整備費	16,209
◇語学指導事業費	5,976
◇村民野球場フェンス及びナイター施設修繕費	6,490
◇スクールバス運営費	2,165
◇生涯学習推進事業費	1,206
◇チャレンジ21教育推進運動事業(岩中・岩小・和小)	3,230
◇心の教室相談員活用調査研究事業(岩中)	633
◇岩室小学校グラウンドスプリンクラー設置費	8,085
◇岩室中学校プール付属屋修繕費	2,400
◇奨学金貸付金	2,880

## 重点施策 産業

■平成12年度実施の次期生産調整対策の中で、麦、大豆、飼料作物等の自給率向上をめざした「転作から本作へ」の政策転換がなされたことから、引き続き大豆の主産地形成をめざした団地化を進めるとともに、生産組織の育成に取り組めます。

■食料の安定供給と価格の安定を図るため、本年度も引き続き生産調整の着実な実施が求められます。

■地籍調査事業は、極端地区の調査、測量及び前年度完了地区の図面作成・閲覧工程を実施します。

■農村総合整備事業における市町村型モデル事業は平成11年度で完了ですが、今後の農産地域整備のため、基本計画案の作成に取り組めます。

■県の漁港環境整備事業による公園整備と、木材流通合理化特別対策事業により埋立地の整備を進めていきます。

■山の会の協力を得ながら、多宝山の登山道を整備します。また、弘川周辺のあやめ植栽地を整備し、ホタルの住む水辺作りに取り組めます。

■地方産業者育成資金貸付事業における県信用保証協会保証料を補助し中小企業の育成振興を図ります。

◇緊急地域雇用特別基金事業委託料	2,800
◇農村総合整備事業費	19,133
◇林道事業費	44,870
◇国営県営事業負担金	30,056
◇農道及びかんばい事業地元負担金	41,365
◇生産調整推進対策事業補助金	37,965
◇漁港整備事業負担金	34,850
◇国土調査事業費	4,596
◇地方産業者育成資金信用保証協会保証料補助金	1,750
◇地方産業者育成資金預託金	80,000
◇商工会補助金	7,500
◇観光宣伝費、広告費	2,346
◇観光施設整備事業	4,553
◇工場誘致条例による奨励金	3,337

## 重点施策 福祉・保健

■介護保険制度の円滑な運営を図り、介護福祉サービスの基礎整備を推進します。

■介護保険導入による介護福祉サービスの低下をまねかないよう、公費による福祉サービスを供給し、在宅福祉サービスの向上に努めます。

■「ねたきり老人介護手当」を増額し、介護者家族の慰労及び経済的負担の軽減を支援していきます。

■実態調査にもとづき、学童保育(放課後児童クラブ)の平成12年度中開設をめざします。

■間瀬保育園を複合用途の一部として、施設を海岸埋立地に木造で建築し、本年度完成をめざします。

■西蒲原地区休日夜間救急センターが4月1日オープンすることによって、休日夜間の医療体制が確立されます。

■病気の早期発見、早期治療をめざし、各種健康診査への受診勧奨を積極的に推進します。

■岩室村環境美化条例が4月1日施行されることに伴い、一層の啓発運動を推進していきます。

◇ねたきり老人介護手当	6,600
◇老人ホーム入所施設費	13,482
◇保育園運営管理費	298,025
◇特養「分水の里」負担金	7,150
◇老人デイサービスセンター運営事業委託料	50,253
◇ホームヘルプサービス助成事業	3,640
◇在宅介護支援センター運営事業委託料	9,939
◇身障者療養施設入所委託料	14,488
◇保健事業送迎用自動車購入費	1,895
◇特養「桜井の里」負担金	10,504
◇巻町外三ヶ町村衛生組合負担金	107,587
◇ごみ収集運搬業務委託料	31,038
◇各種健診及び予防接種事業	23,096
◇し尿処理業務委託料	13,834
◇乳幼児、精神障害者医療費扶助費	4,696
◇人間ドック助成事業	1,968
◇休日夜間救急センター事業負担金	2,069